

【事業実績】

中核館である国立科学博物館、及び構成団体である東洋文庫、国立民族学博物館、東京富士美術館、古代オリエント博物館において、国際連携による博物館の多様性・包摂性推進事業を実施した。

1. 現地調査

- (1) メキシコ合衆国オアハカ市 現地調査 (2024 年 11 月 18－23 日)
- (2) 南東欧 (ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア) 現地調査 (2024 年 11 月 5－12 日)
- (3) ICOM-CIPEG 年次大会 (スペイン) 調査 (2024 年 9 月 23－27 日)



メキシコ合衆国オアハカ市



ヘルツェゴビナの「93 年を
忘れるな」の石碑



ICOM-CIPEG 年次大会
(スペイン・マドリード)

2. 研修会の開催

- (1) 講演会「アラブ・イスラームの文化と魅力－ICOM ドバイ大会に向けて」(東洋文庫) (2024 年 11 月 4 日)
- (2) 講演会「博物館は文化的多様性/包摂性をいかに推進できるか：メキシコ、オアハカ市の版画運動をめぐって」(国立民族学博物館) (2024 年 12 月 14 日)
- (3) ブルガリア大使館展・大使館講演会「ブルガリアの文化」(東京富士美術館) (2024 年 11 月 2 日)
- (4) 講演会「セルビア発、世界へー国際社会を生き抜くための多様性と包摂性」(国立科学博物館) (2024 年 12 月 10 日)
- (5) 講演会「エジプト博物館事情－その多様性と包摂性について－」(古代オリエント博物館) (2024 年 12 月 8 日)



講演会「アラブ・イスラームの文化
と魅力－ICOM ドバイ大会に向けて」



講演会「博物館は文化的多様性
／包摂性をいかに推進できるか」



ブルガリア大使 講演会
「ブルガリアの文化」



講演会「セルビア発、世界へー
国際社会を生き抜くための多様
性と包摂性」



講演会「エジプト博物館事情－
その多様性と包摂性について－」

【参加者の声】

これまであまり情報がな
かったアラブ・イスラーム
の文化について、現地の声
を聞けて勉強になった。

3. 国際会議への参加

- (1) 国際プラネタリウム協会 (IPS) ベルリン大会 参加
- (2) 国際自然史標本保全学会・生物多様性情報標準化委員会 (SPNHC & TDWG) 沖縄大会 参加
- (3) ICOM-NATHIST 年次大会 (フランス・ナント) 参加
- (4) ICOM-ICMAH スポーツ博物館ワーキング・グループ (フランス・ニース) 参加
- (5) ICOM-UMAC 及び UNIVERSEUM 合同年次大会 (ドイツ・ドレスデン) 参加
- (6) ICOM-ICEE 年次大会 (エストニア・タルトゥ) 参加
- (7) 第5回世界津波博物館会議 (フィリピン・マニラ) 参加
- (8) ICOM-ICMAH 年次大会 (韓国・ソウル) 参加
- (9) 日本・イラク合同シンポジウム (東京) 参加



IPS ベルリン大会



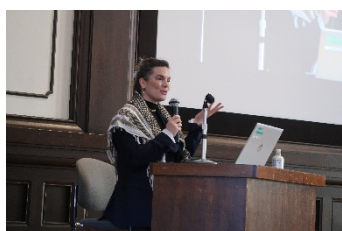
ICOM-NATHIST 年次大会



ICOM-ICEE 年次大会

4. 国際シンポジウム「博物館の多様性・包摂性を考える」(2025年1月13日 国立科学博物館)

- ICOM ドバイ大会紹介 (Melissa Rinne 京都国立博物館主任専門職・ICOM-ICDAD 委員長)
- 講演1 博物館コレクションのデコロナイゼーション (Frederieke van Wijk アムステルダム大学アラード・ピアソン博物館)
- 講演2 生物多様性に関する常設展示について (林 怡萱 国立台湾科学教育館)
- 講演3 博物館の持続可能性を考える (Morien Rees ICOM-SUSTAIN 委員長、バランガー博物館長)
- パネル・ディスカッション (モデレーター: 邱 君妮 東京藝術大学特任研究員)



Frederieke van Wijk 氏



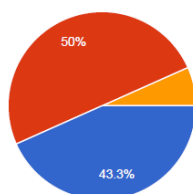
林怡萱氏



Morien Rees 氏

○ ワークショップ

博物館の実践を変革するための批判的な振り返りと実践的な対話のための共創の場を作ること
を目的に、「持続可能性」「デコロナイゼーション」「多様性・包摂性・ジェンダー平等」の重要な概念
テーマごとに3つのテーブルに分かれてワークショップを行った。



- 非常に良かった Very satisfied
- 良かった Satisfied
- 普通 Neither satisfied nor dissatisfied
- 良くなかった Dissatisfied
- 非常に良くなかった Very dissatisfied

【参加者の声】

登壇者も司会者もご挨拶
の方も、一人ひとりのお話
する内容が真に迫っていて
大変興味深かった。